

令和5年第3回定例会一般質問通告事項

	檀上政樹議員（市民連合）	質問方式：一括質問方式
6月	<p>1 尾道市における農業について 「統計おのみち2022版」によると、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家総数：2000年 6459戸→2010年 5265戸→2020年 3562戸（20年で3000戸減） ・農家人口（個人経営体）：2000年 12717人→2010年 7233人→2020年 4274人（20年で8000人減） ・経営耕地面積（個人経営体）2000年 2267ha→2010年 1629ha→2020年 1268ha（20年で1000ha減） <p>となっている</p> <p>(1) これらの減少に歯止めがかからない数字に対する市の受け止めはいかかでしょうか</p> <p>(2) 今後農家人口や耕作地を増やすための政策を考えておられますか</p>	
21日	<p>2 おのみち「農」の担い手総合支援事業について 〈事業名〉</p> <p>ア．地域農業活性化支援事業（集落営農等組織対象） 実績：毎年2～3件</p> <p>イ．新規就農者経営安定支援事業（新規就農者・認定就農者の経営安定目的） 実績：毎年1件あるかないか</p> <p>ウ．農業経営高度化支援事業（認定農業者の経営力向上目的） 実績：毎年15件前後</p> <p>エ．産地構造改革支援事業（圃場整備・大型設備導入等構造改革目的） 実績：令和に入り0件</p> <p>(1) 全体的に件数が少ないようですがそもそも支援を受けるためのハードルが高いのではないのでしょうか。この事業はプロ農家向けのようなのですが、昨今農業への関心が高まっていることから興味のある人にはハードルを下げて誰もが取りかかりやすい仕組みを作るべきだと考えますがいかがでしょうか</p> <p>(2) この制度が始まってから10年ほどになりますが、今後の目標値などがありますか。さらにこの4つの各事業完了後の展開を追っていますか</p>	

<p>6</p> <p>月</p> <p>21</p> <p>日</p>	<p>3 半農半Xにも支援を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、コロナ禍やウクライナ戦争を機に食を大切にする考え方の高まりから半農半Xに興味を持つ人が増えてきている。その後押しをする自治体も出てきている <p>(1) 耕作地を増やすためにも市が就農状況を数字で把握し、半農半Xなど就農者へのアフターフォローまですべきだと考えますがいかがでしょうか</p> <p>(2) 移住政策や人口減対策として「宿泊体験型農業」は有効だと思いますがいかがでしょうか</p> <p>(3) 企業の福利厚生として、ゆくゆくは人手不足解消も期待できる「農泊」は需要があると思いますがいかがでしょうか</p>
--------------------------------------	--